

おかあさんぎょうかい新聞

2020年
10月号

岡崎 Oka'n the Kids 版 (Vol.17)



★10月号のごあいさつ★

こんにちは、お母さん業界新聞「岡崎 Oka'n the Kids(おかんぎきつず)版」です。
 早いもので、もう10月。
 今年もあと3か月となりました。
 学校や地域の行事も軒並み中止や縮小をされているためか、季節感があまりなく、「気がついたらもう秋だった」という感じです。
 朝晩も急に冷えるようになってきたので、体調管理には気をつけつつも、ようやく日中が涼しくなって外出しやすくなってきて、子どもとのお散歩が楽しい毎日です。



お母さん、選挙に行こう！

今月は、岡崎市長選挙と岡崎市議会議員選挙があります。
 この新聞の配布がされるころには、選挙戦が始まっているかな。

私は、20歳で選挙権を得てから、実は選挙「皆勤賞」です。必ず投票しています。
 しかし、より選挙を深く考えるようになったのは、やはり子どもが産まれてから。
 育児を通して、国や地域社会のことを今までよりしっかり見るようになりました。

神奈川県川崎市から、この岡崎市に引っ越してきたとき、市の子育て支援の取り組みの違いに驚いたのですが、それらも結局は、政治が関わっていること。市議会で議論されたことが、行政に反映されるのだから、そこで議論する市議会議員さんが誰になるのかで、私たちの生活は変わります。そしてさまざまな決定権や裁量権は市長さんにあるから、市長さんが誰になるのかも、私たちの生活にかなり大きな影響があります。



<去年の参議院選挙の投票済証>

このコロナ禍で、自治体によって対応にかなり違いが出ました。こんなにも政治が自分たちの生活に直結して感じられたことは、今までなかなかなかったと思います。3月の突然の一時休校。国のトップの鶴の一声で、あんなにも生活が変わってしまう。その後の各自治体の対応。素早い動きの自治体もあれば、そうでないところも。そして何より、その対応に人生さえも振り回された子どもたち。

生活を大きく左右する「政治」に対して、私たちが堂々と意思を表すことができるのが「選挙での投票」です。

10月18日(日)

自分と我が子のために、お母さん、投票に行きましょう！
 まだ選挙権のない我が子の未来を支えるのは、お母さんの一票です！



【お母さん業界新聞配布場所】(岡崎市) 総合子育て支援センター・図書館交流プラザらびら・げんき館プレイルーム・なごみん・やはぎかん・よりなん・むらさきかん
 岡崎レディース整体院・ふとんの野畑屋・シビコ・wagamama house・愛三堂鍼灸院 plus・ビューティーサポート yell・大地の学校ロータス・健心整体・産後ドゥーラ松本忍さん
 じてんしゃ創庫モック・Café あすなる／(名古屋市) おやこサロン Smile Link／(知立市) 防災ママかきつばた
 その他、個人的に配布にご協力くださるみなさまのおかげで、たくさんの方たちにお読みいただいております！
 ※配布にご協力いただけるお店、お教室、イベントなど随時募集中です！お問い合わせは okan.the.kids@gmail.com までお気軽にどうぞ！



★あらためて自己紹介★

天野智子(あまのともこ) 名古屋生まれ名古屋育ち。名古屋駅新幹線口から徒歩10分のところで生まれ育ちました。小中学生の時は、今は無き『生活創庫』で文房具やお菓子を買う生活でした。2005年に結婚、夫の仕事の都合で神奈川県川崎市と名古屋市守山区に住み、2013年に夫の地元である岡崎市に引っ越してきました。今は、夫の実家で敷地内同居しています。2012年2月生まれの長男と2017年12月生まれの次男がいます。ずっとペーパードライバーで、バスと電車で電動自転車を駆使して、この車社会岡崎を生き抜いています。

<学校に行く意味とは・・・>

たまに「学校行きたくない」という長男。
様子を見て、行かせるか行かせないかその都度判断するのですが、無理には行かせないことにしているので、ちょくちょく休ませます。

そんなある日、
理科の授業がつまらないから行きたくない、というので、
(今やっている単元が彼にとって興味が無い)
そんな理由かよ・・・と思って、
私の持論を話してみました。

小中学校の授業では、いろんなことを満遍なく習う。
その中にはもちろん興味が無い内容も多々ある。
だけど、その内容に「興味が無い」と気づくためには、
まずは「そういう内容がある」ということを知らないことには、興味があるのか
ないのかも気づけない。
とりあえずあなたは、
「自分は生物系には興味が無い」ということに気づくことが出来た。
逆に、興味があること、好きなことも、いろんなことを学ぶ中で気づくことが出
来る。
小中学校でさまざまな学びをすることで、高校以降、自分が何が好きで何をやり
たいのかを決めていくことができる。
だから、小中学校の授業は「自分は何が好きなのか、何に興味があるのか」を知る
ためにある、
だから学校に行く意味があるんだと、お母さんは思うよ。

・・・そう伝えたら、なるほどねー、と一応納得していました。

知らない、と、選択できない。
大人でも同じですよ。

とりあえず、
今のとこの彼の学校に行きたくない理由がそれだったので、こう話してみました
が、
もちろん、学校に行きたくない理由によって対応は変わってくるので、
あくまでこの話は、我が家での話です。
彼は学校自体は嫌いではないので、
「つまらないなー、めんどくさいなー」と言いながらも、
好きな科目や内容の時は嬉々として登校していきます。

もちろん、好きなことはどんどん追求してほしい。
けれども、自分の知覚外にある「広い世界」の存在にも気付いてほしい。
その「広い世界」を知るための糸口を、学校教育では学ぶことができると、私は
思います。

親の私もまだまだ勉強が必要です。知らない世界がたくさんある。
子どもを通して、たくさんの方に気づかされる毎日です。

☆今月の息子たち☆

<小3長男、8歳8か月>

9月末から岡崎市は「キッズデイズ」という秋休みがありました。

今年のキッズデイズは、夫と長男の「男二人ドライブ旅」。
最近道路に興味の出たきた長男のために、自家用車で紀伊
半島の旅に出かけました。

三重県から和歌山県を通り、南端の潮岬へも行き、奈良県
で一泊。

ひたすらドライブする旅。もちろんほとんど一般道。

夕方帰宅した長男。ニコニコとっても嬉しそう。

「何が一番楽しかった？」と聞くと、

「・・・ホテル！」

頑張って二日間運転し続けた夫がちょっとかわいそうにな
りました(笑)



<次男、2歳9か月>

①「電話をする真似」がブームです。

通信教育の教材にあった、スマホのおもちゃを耳に当てて、

「はい、はい、おとーさんはいません、はい、はいー」

ガチャッ。

「はい、はい、はいー、わかりましたー、はいー」

ガチャッ。

その「はい」の言い方がものすごくハキハキしていて、いつ

たい誰の真似をしているのだろうと思っていましたが、

どうも、同居のおばあちゃんの真似をしている様子。

おばあちゃんが電話をしている姿をよく見ているので、すっ

かり覚えてしまったようです。

②場所見知りが激しいです。

幼稚園、病院、育児サークル、いずれも断固拒否！

「帰る！帰る！」とギャン泣き。

病院は仕方ないので無理にでも連れていきますが、今月末に
幼稚園の入園検定があるので、今から憂鬱です・・・

お母さん記者募集！！！！

毎日の育児のこと、子どものこと、自分のこと、

日々の生活の中で思っていること、

お母さん大学で発信してみませんか？

全国のお母さん記者ともつながることができますよ☆

「お母さんだから書けること」「お母さんだから見えるもの」

ぜひ仲間になって、今いる世界から一歩踏み出しましょう！

興味のある方は、

お母さん業界新聞社 045-444-4030 info@30ans.com

またはお母さん大学岡崎 okan.the.kids@gmail.com まで！



★岡崎市での折々おしゃべり会について★

昨年から毎月開催し、今年2月を最後に中止している「折々お

しゃべり会」ですが、今月から再開しようとしていたところ、

市内での感染が拡大してきたため、引き続き中止としました。

今後も、感染状況を見て開催するかの判断をしていきます。

開催する場合は、「お母さん大学岡崎」Facebook ページや

Instagram、公式LINEにてお知らせしますので、

ぜひチェックをお願いします。

早くみなさんと新聞折々しながらおしゃべりしたいです！

お母さん業界新聞 岡崎 Oka'n the Kids 版 Vol.17 (2020年10月)

発行/お母さん大学岡崎

編集長/天野智子(名古屋出身、小3と2歳の息子がいます)

090-7695-9129 okan.the.kids@gmail.com

Facebook ページ&Instagram「お母さん大学岡崎」も見てね！

お母さん業界新聞 全国版

発行/お母さん大学 発行人/藤本裕子(編集長)

制作/お母さん業界新聞社

〒221-0055 神奈川県横浜市神奈川区大野町1-8-406

045-444-4030 info@30ans.com

http://www.okaasan.net/